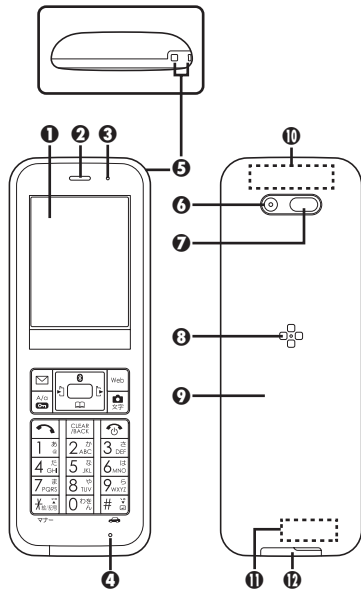




各部の名前とはたらき	1-2
キーのはたらき (待受画面)	1-2
電池パックを取り付ける／取り外す	1-4
電池パックを充電する	1-6
電源を入れる／切る	1-7
誤動作防止を利用する	1-7
画面／マークの見かた	1-8
待受画面について	1-8
ソフトキーについて	1-8
ディスプレイのマーク	1-9
機能を呼び出す	1-10
メインメニューから機能を選ぶ	1-10
キーを長押しして機能を呼び出す	1-10
電話番号を確認する	1-12
登録内容を編集する	1-12
マナーについて	1-13
マナーモードを利用する	1-13
安全運転モードを利用する	1-13
電波OFFモードを利用する	1-14
暗証番号について	1-15
操作用暗証番号を変更する	1-15
管理者用暗証番号を変更する	1-16
はじめてインターネット(メール)を利用するとき	1-17
スマートフォンなどと接続して利用するとき	1-18
スマートフォンリンク機能について	1-18
スマートフォンと接続する	1-18
携帯電話などと接続する	1-19
スマートフォン内の情報を本機で確認する	1-20
CLIP DISPLAYについて	1-20
スマートフォンのCLIP DISPLAYを設定する	1-20
CLIP DISPLAYを利用する	1-21



各部の名前とはたらき



- ① ディスプレイ
- ② 受話口
- ③ スモールライト
- ④ 送話口
- ⑤ ストラップ取り付け穴
- ⑥ カメラ(レンズカバー)
- ⑦ 赤外線ポート
- ⑧ スピーカー
- ⑨ 電池カバー
- ⑩ 通信用内蔵アンテナ(メイン)
- ⑪ 通信用内蔵アンテナ(サブ)
- ⑫ 外部接続端子(端子キャップ付)

端子キャップについて

- 通常は閉じたままでお使いください。

ストラップ取り付け穴について

- 金属製のストラップを取り付けると、受信感度に影響を与えることがあります。

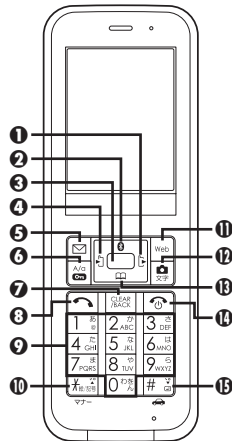
通信用内蔵アンテナについて

- 感度に影響しますので、シールなどを貼ったり、手で覆ったりしないでください。

まずは各部の名前とキーのはたらきを確認

キーのはたらき(待受画面)

- ()内は、本書での表記です。
- 【長】は、キーを長く押ししたときのはたらきです。
- ※印の機能は、キーショートカット設定で変更できます(参考P.1-10)。



① 発信履歴キー (📞)

発信履歴表示

② Bluetoothキー (📶)

Bluetoothメニュー表示

【長】 Bluetooth再接続*

③ センターキー (📄)

メインメニュー表示

④ 着信履歴キー (📞)

着信履歴表示

【長】 オーナー情報表示*

⑤ メールキー (✉)

メールメニュー表示

【長】 Eメール作成画面表示*

⑥ ロック/A/aキー (🔒)

スピードダイヤル/メール起動

【長】 誤動作防止設定/解除

⑦ クリア/バックキー (🗑️)

簡易留守録再生

【長】 簡易留守録設定/解除

⑧ 開始キー (🏠)

電話番号入力画面表示

【長】 位置情報送信

⑨ ダイヤルキー (0☎️～9☎️)

電話番号入力

【長】 電話帳あ行 (1☎️)～ら行 (9☎️)、わ行 (0☎️) 表示

⑩ *キー (✳️)

「*」、「P」入力

【長】 マナーモード設定/解除

⑪ Webキー (🌐)

Webメニュー表示

【長】 ブラウザ起動(ホーム接続)*

⑫ カメラ/文字キー (📷)

カメラ起動

【長】 カメラメニュー表示

⑬ 電話帳キー (📞)

電話帳表示

【長】 電話帳新規登録画面表示*

⑭ 電源キー (🔋)

ソフトキー表示切替/操作中止(待受画面以外)

【長】 電源OFF

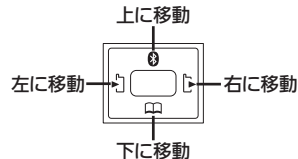
⑮ #キー (☎️)

「#」入力

【長】 安全運転モード設定/解除

■ マルチガイドキーについて

📄📶📷📞の各キーは、それぞれのはたらかの他、項目や文字変換候補の選択にも利用できます。



● 本書では、これらのキーを総称して、「マルチガイドキー」と呼び、次のように表記している場合もあります。

	📞または📞を押す
	📶または📶を押す
	📷📷📷📷のいずれかを押す

■ 画面切替のためのキーについて

メニュー画面や一覧画面など、表示が複数にわたる画面では、#☎️/✳️☎️を押すと画面を切り替えることができます。

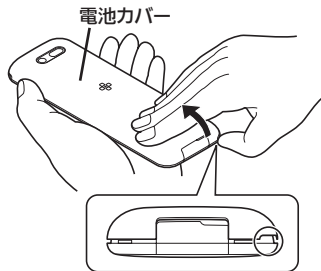


電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックを本機に取り付ける

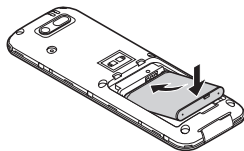
本機に電池パックが取り付けられていないときは、次の手順で取り付けます。

1 電池カバーを取り外す



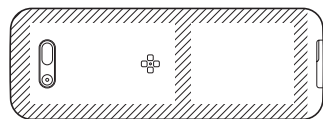
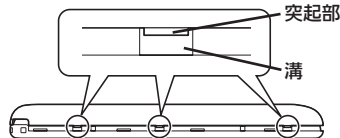
- 凹部に指をかけ、電池カバーと本体の間にすきまを作ります。凹部のすきまから本体の外周に沿って、指で少しずつ電池カバーを浮かせるようにして取り外します。

2 電池パックを取り付ける



- 印刷面を上にして、電池パックの先を合わせてください。

3 電池カバーを取り付ける



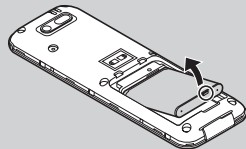
- 本体両側面の溝と電池カバーの突起部分を合わせたあと、電池カバーの斜線部分を指で押し、完全に取り付けます。

4 電池カバーが完全に取り付けられていることを確認する

- 本体の外周を確認し、電池カバーが浮いている箇所があれば、指でしっかりと押さえ、完全に取り付けます。
- 電池カバーが完全に取り付けられていないと、パッキンとの接触面に細かいゴミなどが挟まり、内部に水や粉塵が入る原因となります。

電池パックを取り外す

- 本機の電源を切った状態で電池カバーを取り外し、図のように電池パックを持ち上げます。



■ 電池カバーについてのご注意

- 電池カバーに無理な力を加えると、破損の原因となります。
- 電池カバーが正しく装着されていないと、防水／防塵性能が保証できません。
- 電池カバーが破損したときは、電池カバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池パックの腐食など、故障の原因となります。



■ 電池パックについて

- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置しないでください。お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度補充電を行ってください。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがあります。安全上問題はありません。
- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックや本機の充電端子が汚れたら、乾いたきれいな綿棒などで清掃してください。そのままにしておくと、充電ができなくなるなど接触不良の原因となります。
- 電池パックは、防水／防塵性能を有していません。

リチウムイオン電池について

- 本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。



- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話会社のウェブサイトにご協力。

- リサイクルのときは、ショートさせたり、分解しないでください。火災・感電の原因となります。



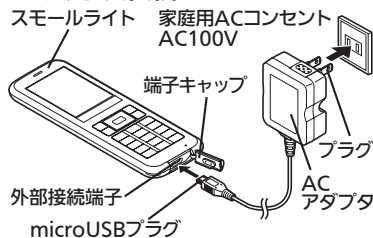
電池パックを充電する

別売のACアダプタで充電

準備／基礎知識

ACアダプタは付属していません。
オプション品（別売）の「ウィルコム用充電ACアダプタ01（AC01-MU-K）」をお買い求めください。

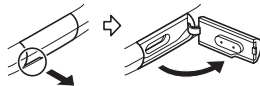
- ACアダプタは、防水／防塵性能を有していません。本機が濡れているときは、充電しないでください。
- パソコンと接続して充電することもできます（参照P.10-10）。



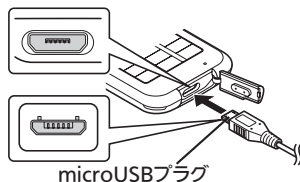
ACアダプタ利用時のご注意

- 充電中は、ACアダプタや本機が温かくなることがあります。
- 充電するとき以外、プラグは倒してください。また、コードを強くひっぱったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 充電・イヤホンが同時使用できる市販のアダプタは、使用しないでください。故障の原因となることがあります。

- 1** 外部接続端子の端子キャップを矢印の方向に開く

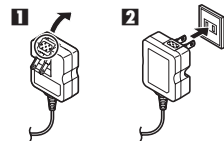


- 2** 外部接続端子にACアダプタのmicroUSBプラグを差し込む



- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。プラグの形状と向きをよく確かめて、差し込んでください。

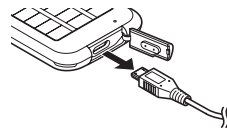
- 3** ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む



- 充電が始まり、スマールライトが赤色で点灯します。スマールライトが消灯すれば、充電は完了です。

- 4** ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜き、プラグを倒す

- 5** 本機からmicroUSBプラグを取り外す



- 6** 端子キャップを確実に閉じる

- 確実に閉じられていないと、パッキンとの接触面に細かいゴミなどが挟まり、内部に水や粉塵が入る原因となります。



1 (長押し)

2 しばらくすると…



- 待受画面が表示されます。

電源を切るときは

(長押し)

- 終了画面が表示されたあと、画面が消灯します。

■ 画面の自動消灯について

通話中や操作をしない状態が続くと、電池パックの消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます(パネルセーブ)。

- 画面を点灯するときは、いずれかのキー(通話中のときは(長押し)以外)を押します。

バックライトについて

- 画面が自動消灯する前に画面表示が暗くなります。
- 画面が見えづらいつきは、(明るさ)～(明るさ)のいずれかのキーを押すとバックライトが点灯します(押したキーの動作が行われませんので、ご注意ください)。
- 通話時は、画面表示が暗くならず、すぐに消灯します。

誤動作防止を利用する

カバンやポケットの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってキーが押されるのを防ぐことができます。

1 (長押し)

誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、(長押し)を押して電話を受けることができます。通話終了後には、再度誤動作防止が設定されます。
- (長押し)を長押ししても、電源は切れません。

誤動作防止を解除する

誤動作防止設定中に(長押し)

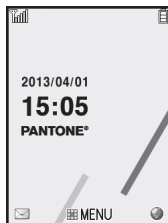
- 画面が自動消灯しているときは、いずれかのキーを押して画面を点灯してから解除する操作を行います。



待受画面について

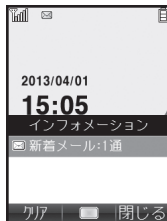
待受画面は、本機の操作の起点となる画面です。画面上部には、本機の状態を示すマークが表示されます。


- おもなマークの見かたについては、P.1-9を参照してください。



■ インフォメーションについて

電話を受けられなかったり、メール着信があったりすると、待受画面下部にインフォメーションが表示されます。






- お知らせ内容（「新着メール」など）と件数が表示されます。お知らせ内容を選び  を押すと、内容を確認できます。

未読のインフォメーションを確認する



ソフトキーについて

画面下部に表示される文字は、左から順に , ,  を押したときに操作できる内容を表しています。



サブメニューについて

- 「メニュー」が表示されているとき、該当のソフトキーを押すと、サブメニューが表示されます。サブメニューからは、各機能に関するさまざまな操作や設定が行えます。



ディスプレイのマーク

■ 常時点灯しているマーク



	電波状態※1
	電池レベル

※1 棒の数が多いほど電波状態が良好です。

■ 機能の動作を示すマーク

	着信中
	通話中
	Java™アプリ起動中
	Java™アプリ一時停止中

■ お知らせのためのマーク

	未読メールあり
	未受信メールあり
	用件録音あり(簡易留守録設定中)
	用件録音あり(簡易留守録未設定時)
	ソフトウェア更新結果あり

■ 本機の設定を示すマーク

	電波Offモード設定中
	簡易留守録設定中
	カレンダー／予定リスト設定中(アラームOn)
	カレンダー／予定リスト設定中(アラームOff)
	アラーム設定中
	マナーモード設定中
	安全運転モード設定中
	オリジナルモード設定中
	着信音量サイレント設定中
	パイプレータ設定中
	キー操作ロック設定中(即時)
	誤動作防止設定中
	位置情報通知設定中

■ 通信関連のマーク

	SSL対応の画面表示中
	パケット通信利用中
	メール受信中
	ソフトウェア更新中
	microUSBケーブル接続中
	USB通信中
	赤外線通信接続中
	赤外線送受信中
	Bluetooth通信待機中
	Bluetooth通信中
	Bluetooth通話中

待受画面のマークについて

- 待受画面では、大きさや形状の異なるマークがあります。



機能呼び出す

メニューから順に選んで呼び出し、キー長押しで直接呼び出し

メインメニューから機能を選ぶ

1



- メインメニューが表示されます。

2



- 選んだ機能が実行されたり、項目内のメニューが表示されます。
- 項目内のメニューが表示されたときは、で項目を選び、を押します。

1つ前の画面に戻る

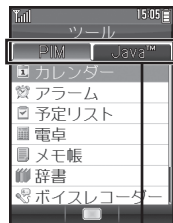
- を押します。確認操作などが必要なこともあります。

待受画面に戻る

- を押します。確認操作などが必要なこともあります。

■タブについて

その画面や項目に複数の画面／項目があるときは、「タブ」が表示されます。タブの切替はで行います。



タブ

キーを長押しして機能呼び出す

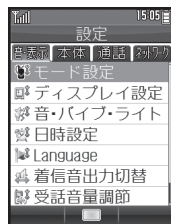
待受画面で, , , , , を長押しすると、あらかじめ登録されている次の機能呼び出すことができます（キーショートカット）。

キー	あらかじめ登録されている機能
	Eメール作成画面表示
	Bluetooth再接続
	電話帳新規登録画面表示
	オーナー情報表示
	—
	ブラウザ起動（ホーム接続）

■登録されている機能を変更する

電話を登録する方法を例に説明します。

1



- 設定画面が表示されます。



2

☰ 本体



- タブが切り替わります。

3

キーショートカット設定 → ● →
変更するキー選択 → ●

4

通常アプリから登録 → ●

- 機能登録画面が表示されます。
- ブックマークを登録するときは、「ブックマークから登録」を選び●を押します。

5

ツール → ● → 電卓 → ●

機能登録画面に表示されている機能を登録する

④のあと、機能を選択 → ●

登録されている機能を解除する

③のあと解除 → ●



電話番号を確認する

電話番号を確認、メールアドレスなどのオーナー情報を登録

1

(長押し)



- お客様の電話番号が表示されます (オーナー情報画面)。

登録内容を編集する

1

オーナー情報画面で

詳細情報

2

項目選択



3

編集項目選択 内容編集



便利な機能を使いこなす

- ① オーナー情報を赤外線通信で送信する
オーナー情報画面で (長押し) 画面の指示に従って操作
● 赤外線通信について詳しくは、P.10-2を参照してください。
- ② オーナー情報をEメールに添付する
オーナー情報画面で **メール添付** **メール作成**
- ③ オーナー情報送信時に送信する情報を設定する
オーナー情報画面で **オーナー情報送信設定** **項目選択**
- ④ オーナー情報をお買い上げ時の状態に戻す
オーナー情報画面で **オーナー情報リセット**



本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

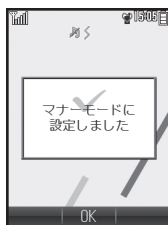
- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の人たちの迷惑にならないように気をつけましょう。
- 電車やバスなどの交通機関では、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使います。

マナーモードを利用する

着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

1

#3 (長押し)



- マナーモードが設定されます。

マナーモードを設定すると

- 着信音などの音量が「サイレント」になります。
- 着信時などにバイブレータが動作するようになります。
- カメラ撮影時のシャッター音は、設定にかかわらず常に一定の音量で鳴ります。

マナーモードを解除する

マナーモード設定中に#3 (長押し)

マナーモード設定時の動作を変更する

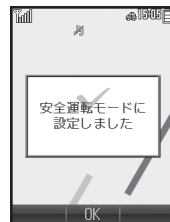
- ▶設定▶□▶音・表示▶モード設定▶□▶マナーモード▶□▶設定項目選択▶□▶各設定項目の操作

安全運転モードを利用する

着信があっても、着信音やバイブレータが動作しないようにします。相手には、運転中のため通話できないことをお知らせします。

1

#3 (長押し)



- 安全運転モードが設定されます。



安全運転モードを解除する

安全運転モード設定中に[長押し]

安全運転モード設定中に着信があったとき本機で応答する

□▶設定▶□▶☎音・表示▶モード設定▶□▶安全運転モード▶☎▶電話機応答▶□

安全運転モード設定中に着信があったときネットワークで応答する

□▶設定▶□▶☎音・表示▶モード設定▶□▶安全運転モード▶☎▶ネットワーク応答▶□▶メッセージ録音あり/メッセージ録音なし▶□

●「メッセージ録音あり」を選ぶと、留守番電話センターで相手のメッセージをお聞きすることができます(別途、留守番電話サービスへのお申し込みが必要です)。

電波Offモードを利用する

電源は入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

●電波の送受信を停止すると、電話の発着信、メールの送受信、インターネット接続など、電波をやりとりする機能が利用できなくなります。

1

□▶設定▶□
▶☎ネットワーク

2

電波Offモード▶□

3

電波Offする▶□

●電波Offモードが設定されます。

電波Offモードを解除する

②のあと電波Offしない▶□



便利な機能を使いこなす

➡ オリジナルのモードを作成する

□▶設定▶□▶☎音・表示▶モード設定▶□▶オリジナルモード▶☎▶設定項目選択▶□▶各設定項目の操作

➡ オリジナルモードを利用する

□▶設定▶□▶☎音・表示▶モード設定▶□▶オリジナルモード▶□

➡ モードの設定を初期化する

□▶設定▶□▶☎音・表示▶モード設定▶□▶モード選択▶☎▶はい▶□

●安全運転モードは初期化できません。



本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用 暗証番号	各機能を利用するときに使います。 お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
管理者用 暗証番号	設定初期化、完全消去＋初期化を行うときに使います。 お買い上げ時には、「9999」に設定されています。

- 各暗証番号はお忘れにならないよう、また、他人に知られないようご注意ください。
- 他人に知られ悪用されたときは、その損害について責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各機能で暗証番号の入力を間違えると

- 入力間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。

操作用暗証番号を変更する

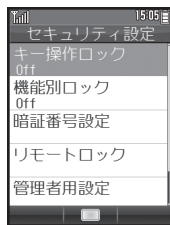
4～8ケタの番号を設定できます。

1

□ → **設定** → □ → **本体**

2

セキュリティ設定 → □



- セキュリティ設定画面が表示されます。

3

暗証番号設定 → □
→ **暗証番号変更** → □

4

現在の操作用暗証番号入力 → □

- お買い上げ時は、「9999」を入力します。

5

新しい操作用暗証番号入力 → □

6

再度、新しい操作用暗証番号入力
→ □

■操作用暗証番号の入力可否を設定する

入力可否設定を「必要」にすると、各種データの全件削除などのとき、操作用暗証番号の入力が必要となり、セキュリティを強化できます。

- 本書は、入力可否設定が「不要」に設定されている状態での操作方法を記載しています。

1

**セキュリティ設定画面で
暗証番号設定** → □

2

入力可否設定 → □ → **必要** → □

3

操作用暗証番号入力 → □



管理者用暗証番号を変更する

4～8ケタの番号を設定できます。

1

セキュリティ設定画面で
管理者用設定▶

2

管理者用暗証番号変更▶

3

現在の管理者用暗証番号入力

▶

- お買い上げ時は、「9999」を入力します。

4

新しい管理者用暗証番号入力

▶

5

再度、新しい管理者用暗証番号
入力▶



はじめてインターネット(メール)を利用するときは、オンラインサインアップを行い、ウィルコムインターネット接続先「WILLCOM」の開通を行う必要があります。

- オンラインサインアップを行うと、ウィルコムのメールアドレスも取得できます。
- 通信料はかかりません。

オンラインサインアップ時のご注意

- オンラインサインアップは、電波状態のよい場所で行ってください。
- ご契約内容によっては、オンラインサインアップができないことがあります。

1



- Webメニュー画面が表示されます。
- を押して表示される、メールメニュー画面からも操作できます。

2

オンラインサインアップ

- オンラインサインアップ画面が表示されます。

3

必要事項を入力/設定

これで設定を行う

- オンラインサインアップが開始されます。以降は、画面の指示に従って操作してください。

サーバー内のメール設定について

- オンラインサインアップ完了後、再度オンラインサインアップを行うと、メール自動受信や拒否設定など、サーバー内のメール設定を行うことができます。設定項目などの詳細や操作方法は、画面の情報をご参照してください。

オンラインサインアップで取得した情報を削除する

のあと削除 はい





スマートフォンリンク機能について

Bluetooth®機能を利用して、本機とスマートフォンや携帯電話などを接続すれば、スマートフォンや携帯電話の電話機能を本機から利用することができます。また、スマートフォンで受信したメールを確認することもできます。

- Bluetooth®機能について詳しくは、P.10-4を参照してください。
- スマートフォンリンク機能での電話の利用についてはP.2-11を、メールの利用についてはP.5-21を参照してください。
- 接続できるスマートフォンについては、パソコン用サイト「SH DASH」内の「外部機器運携ガイド Bluetooth連携」をご参照ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/w/wx03sh/peripherals.html#!/bluetoothproduct>

接続できる機器について

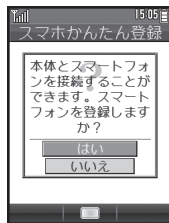
- Bluetooth®機能の「HFP」プロファイルに対応している機器と接続することができます。ただし、機器によっては、「HFP」プロファイルに対応していても、スマートフォンリンク機能が利用できないことがあります。

スマートフォンと接続する

「スマホかんたん登録」を利用すると、簡単な操作でスマートフォンとBluetooth®機能で接続することができます。

- あらかじめ、スマートフォンに、Google Playを利用して「PHSかんたん登録」アプリ（Android™4.0以上に対応）をインストールしておいてください。
- スマートフォンによっては、「スマホかんたん登録」が利用できないことがあります。そのときは、「携帯電話などと接続する」の操作で接続してください。

1 ③ → スマホかんたん登録 → ④



2 ② はい → ④



- QRコードが表示され、Bluetooth®機能が有効(On)になります。
- 他のBluetooth®機器と接続中のときは、このあと「はい」を選び④を押し、接続を切断します。

3 ③ スマートフォンで、「PHSかんたん登録」を起動

4 ④ スマートフォンの画面に、本機の画面のQRコードを表示

- 本機とスマートフォンが接続されます。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

携帯電話などと接続する

「スマホかんたん登録」が利用できないBluetooth®対応機器(相手機)とは、次の操作で接続します。

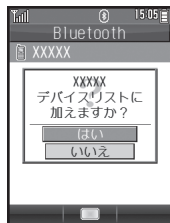
1 Bluetooth共通設定



2 デバイス登録

- Bluetooth®機能が有効(On)になり、近くにあるBluetooth®対応機器の検索が開始されます。機器が見つければ一覧表示されます。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3 接続する機器選択



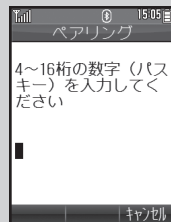
- 他のBluetooth®機器と接続中のときは、このあと「はい」を選び☑を押し、接続を切断します。

4 はい

- 選んだ機器と接続されます。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

パスキーについて

- 相手機によっては、パスキーの入力を求められることがあります。



このときは、次の操作を行ってください。

④のあと、本機と相手機で同じパスキーを入力

- パスキーの入力は、パスキー入力画面が表示されたあと、30秒以内に完了してください。



スマートフォン内の情報を本機で確認する

スマートフォン内のメールやSNSを確認

準備 / 基礎知識

CLIP DISPLAYについて

CLIP DISPLAYを利用すると、Bluetooth®機能で接続したスマートフォンの次の情報を、本機で確認することができます。

- 受信メール(Gmail™、その他メール※)
 - ※ スマートフォンによっては、本機で確認できるメールの種類が異なります。パソコン用サイト「SH DASH」内の「外部機器連携ガイド Bluetooth連携」をご参照ください。
- 電話の発着信履歴
- Facebook、mixi、TwitterのSNS情報

対応するスマートフォンについて

- Android™4.1以上のスマートフォン、およびシャープ製のAndroid™4.0の一部のスマートフォンに対応しています。
- スマートフォンによっては、正しく動作しないことがあります。動作確認済みの機種については、パソコン用サイト「SH DASH」内の「外部機器連携ガイド Bluetooth連携」をご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/w/wx03sh/peripherals.html#!/bluetoothproduct>

スマートフォンのCLIP DISPLAYを設定する

あらかじめ、スマートフォンにGoogle Playを利用して、次のアプリをインストールしてください。

- 「CLIP DISPLAY設定 for PHS」アプリ (シャープ製の一部スマートフォンでは「CLIP DISPLAY設定」アプリ)
- 「Gmailプラグイン for CLIP DISPLAY設定」アプリ

Gmail™のご利用にあたって

- あらかじめ、スマートフォンに設定しているGoogle™アカウントの同期設定で、「Gmailを同期」を有効 (チェックが入った状態) にしておいてください。

■ スマートフォンでの操作 (アプラインストール後)

1 「CLIP DISPLAY設定 for PHS」 (または「CLIP DISPLAY設定」) アプリを起動



- CLIP DISPLAY設定画面が表示されます。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2 「アプリケーション管理」をタップ

3 各項目をタップして、内容を設定

電話	発着信履歴を確認したり、履歴から電話をかけたりするかどうかを設定
メール／Gmail	Gmail™等メールを確認するかどうかや、Googleアカウントを設定
Facebook	Facebookの情報を確認するかどうかを設定*
mixi	mixiの情報を確認するかどうかを設定*
Twitter	Twitterの情報を確認するかどうかを設定*

※アカウントや、表示するメンバー／情報の種類も設定します。

- 「CLIP DISPLAY設定」アプリの場合、「ボイスコントロール」は本機では利用できません。

4 戻るキーをくり返しタップし、CLIP DISPLAY設定画面に戻る

5 必要に応じて、他の項目を設定／確認

接続機器情報	接続状況を確認したり、本機への転送間隔などを設定
パイプレータ	スマートフォンでのメール受信や不在着信を本機へ通知する際の、パイプレータを設定
LED	スマートフォンでのメール受信や不在着信を本機でインフォメーション表示する際の、ライトを設定

- 「CLIP DISPLAY設定」アプリの場合、「接続機器情報」のソフトウェアの更新、「カード設定」、「画面ロックのスキップ」は、本機では利用できません。

アプリの終了について

- アプリを終了すると、本機で取得した情報を表示できなくなります。

CLIP DISPLAYを利用する

Bluetooth®機能で接続したスマートフォンの情報を、本機で確認することができます。

1 本機とスマートフォンをBluetooth®機能で接続 (P.1-18)

2 CLIP DISPLAY



- CLIP DISPLAY画面が表示されます。

3 確認する機能やサービス選択

- 情報が更新され、履歴が表示されます。このあと、履歴を選び[]を押すと、詳細を確認したり、発信などの操作を行うことができます。